

武山にタカの渡りを見に行こう！

さわやかな秋晴れの日、山頂の展望台から壮大なタカの渡りを観察してみませんか？

タカの渡りって？…

春に日本に渡ってきたタカや日本で生まれたその子供たちが、秋になると南の国へ渡って行きます。武山では10種類くらいのタカたちが渡って行きますが、その中でもサシバというカラスくらいのタカがいちばんたくさん観察できます。

♪♪ サシバ自己紹介 ♪♪

生まれ：日本の里山

大きさ：50cm(頭～尾まで)

好きな食べ物：カエル！・ヘビ！

声：ピクイー(甲高い声)

渡りはいつ見られる？…

9月下旬から10月上旬の晴れた日にたくさん渡ります。多い日は、300～500羽のサシバが、10～30羽くらいの群で次々と武山上空を通過していきます。

武山はタカの渡りの通い道…

武山ではサシバを含め、なんと17種類(ミサゴ、ハクマ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、ハヤブサ、千ゴハヤブサ、チョウゲンボウなど)のタカの仲間が観察されています。房総半島からやってくるタカたちにとって、武山はとてもよく目立つ目印となっていて、タカの渡りを観察するには最適なのです。

ボランティアガイド付き！

～観察会のご案内～

9月20日ころ～10月10日ころまでは武山山頂展望台で毎日午前中に観察しています(雨天・荒天時はお休み)
「三浦半島渡り鳥連絡会 調査員」に気軽に声を掛けてください！



◆もちもの

- ・双眼鏡(あれば)
- ・ウインドブレーカー など

◆行き方

「一騎塚」バス停から徒歩約30分。または「通信研究所南門」バス停から徒歩約15分。いずれもハイキングコースで武山山頂(武山不動院がある場所)を目指します。(山頂にトイレあり)

▲山頂展望台で観察しています

くわしくは、三浦半島渡り鳥連絡会 ホームページまで！

<http://birder.guidebook.jp/>